

施策番号 3-1-1	施 策 名	生涯を通じた健康づくり	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり		
			政策名	いつまでも健康で安心して暮らせる保健医療環境づくり		
	主 管 課	健康福祉課	課長名	森 真由美	内 線	145
	施策関係課	子育て支援課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
運動や食生活の改善などの推進により、健康的な生活習慣や食習慣を促すとともに、健診・保健指導などにより、自らが行動し生活習慣病を予防する健康づくりを進めます。		町民		・健康的な生活習慣及び食習慣を身につけてもらう ・生活習慣病の有病者・予備軍を減少させる				心身ともに健康で生き生きと健やかに暮らせる	
成果指標	説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標	
① 日頃から健康的な生活習慣を身につけている方だと思う町民の割合	住民意識調査	%	65.2 (R3)	63.5				70.0	
② 特定健診受診率	健診等成果	%	34.0 (R2)	36.9				60.0	
③									
成果指標設定の考え方	① 健康づくりのためには日頃から健康的な生活習慣を身につけることが必要であることから成果指標に設定。 ② 特定健診受診率の増加により健康状態が不明な方を減らし、生活習慣病の予防や重症化予防を目指すため、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、国の目標値に合わせて設定。								

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	2,860,247	2,936,100			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察				
①2023年度 の成果評価 (基準年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した	想定され る理由	特定健診をはじめ各種健(検)診では明確な受診率の向上には至っていないが、健康ポイント制度や出前健康講座の参加者等、保健事業利用者から、健康づくりの意識変化の声や実際の行動変容もあり、健康づくりの動機づけに繋がっていると考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった			
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した			
②第5期総合計 画後期実施計画 (2026年度)の最 終的な目標達成 状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	住民意識調査では30代の「健康的な生活習慣を身につけていると思う割合」が50%を下回る結果となっている。 生活習慣病予防は若い頃からの生活習慣が重要であり、子どもの頃からの望ましい食事や運動習慣等を学び身につける機会として、家族を含めて疾病予防や健康増進のための健康管理の重要性の周知普及を行うこと、また、特定健診受診者に対する保健栄養指導の継続、出前健康講座や健康ポイント制度による健康知識の普及と健康意識の醸成、健康行動の習慣化を促す取り組み等、様々な保健事業により、町民がいきいきと健康的に暮らすことができる目標に近づけることができると考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能			
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい			
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括				
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	特定健診事業・特定保健指導事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業		
	成人健康教育相談事業			
	健康ポイント制度運営事業			
	児童・生徒健康教育事業			
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・健康状態の不明な方を減らすため、健診未受診者への受診勧奨を強化し生活習慣病の予防と早期発見に努めた。また、健診受診者への保健栄養指導を実施し、健康への取り組みを支援することで、疾患予防や重症化予防を図った。 ・健康講座や健康相談を実施し、健康に関する情報提供や不安や疑問の解消に努め、健康意識を高められるよう努めた。 ・健康ポイント交換の選択肢としてMポイントを活用。健診受診や運動教室への参加などの健康づくりへの動機づけ、後押しに仕組み、利用者は増加傾向である。今後はより利用しやすく有効となる方法を検討していく。 ・児童生徒生活習慣病検査結果を基に、事後指導として個々に対し健康・栄養相談を実施。必要に応じて継続的に支援を行い、生活習慣改善を支援した。			

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	特定健診の個人負担金の軽減・定額化や新規及び継続受診の勧奨方法を工夫し、健診機会の確保に取り組んだ。また、児童生徒及び若年層からの健康相談や健康教育、健康ポイント制度での健康づくりの知識の普及や取り組みの後押しに努めた。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した
B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	《施策を取り巻く状況》 ・平成30年度に運用を開始した第2期芽室町データヘルス計画(H30～R5)に基づき保健事業を実施。 ・令和2年4月の健康保険法等の一部改正により、後期高齢者の健康維持を支援する新たな体制整備が進められることとなり、令和3年度から関係課係が連携して高齢者の保健・介護一体的実施推進事業を開始。 《今後の予測》 ・生活習慣病の増加に対し、若い頃からの生活習慣病予防の重要性が高まっている。子どもの頃からの望ましい食事や運動習慣等を学び身につける機会が必要であり、家族を含めて疾病予防や健康増進のための健康管理の重要性の周知普及が必要である。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・特定健診受診率の高い他町村も参考に、受診率を上げるための取り組みを推進してほしい、との意見 →先進自治体等の取り組みを参考に、健診予約体制や健診項目・健診日程等の健診体制全般を含め、受けやすい健診体制を検討・構築する。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

●課題① 受診率の向上 ・健康状態の把握できていない未受診者を減少させることが重要であり、家庭訪問や保健栄養指導及び、受診勧奨方法の工夫等により健診受診への意識変容を促す。 ・健診受診による自己の健康管理や健康行動を継続していけるよう、また、個人から家族へその取り組みが波及するよう支援を行う。さらに、受診率の向上により地域の健康課題を明確にし、優先して取り組むべき課題を分析・整理する。
●課題② 生活習慣病対策 ・若い頃からの生活習慣病予防の重要性と、健診受診の必要性を周知する。子どもの頃からの望ましい食事や運動習慣等を学び身につける機会として、関係課係の連携により強化を図る。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、変わらない又は維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に、変わらない又は維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・ウォーキングモニターの取り組みは、町民が楽しんで参加している印象。楽しいイメージで健診などについてもアプローチしてほしい。 ・町民が健康的な生活習慣を身に付けられるよう、ハード面は、環境が整ってきているため、ソフト面で環境を整えてほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					